

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	浅口市立寄島中学校	実践者名	宮原 稚世
教科等	理科	学年	第1学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	情報を整理・比較したり、得られた情報を分かりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる。		
単元・内容等	「植物の体のつくり」 植物の子葉・葉脈の様子・根のつくりを把握し、特徴から仲間分けをすることができるようになる。		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	理科の授業では、授業の終わりにタブレットで振り返りを行っている。域内の小学校においても、タブレットを活用して、スライドにまとめて発表を行うなど、積極的に活用している。		

活用の概要 (使用アプリ名を含む)

(1) 前時の振り返りを行う。

(2) 植物の被子植物と裸子植物の体のつくりの違いを明確にする

(3) 被子植物には様々な種類があることを理解し、体の特徴を調べる。



(4) 様々な植物の体の違いを考える

・どのような植物があるかを検索し、調べたことをスライドにまとめる。

(5) 本時の振り返りを行う。



生徒の作成したスライド

実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
生徒は、自身で写真のレイアウトを工夫したり必要な情報の取捨選択を行ったりすることができていた。個々が作成したスライドは、共有し、互いにコメントをしようことで、植物の体のつくりについて更に理解を深めることができた。	(生徒の振り返り) 「植物にも規則性があることに驚いた。」 「子葉、葉、根が同じ種類かと思っていたけれど、いろいろな種類があることが分かった。」 「なぜ植物ごとに子葉の枚数が違うのかもっと調べたい。」